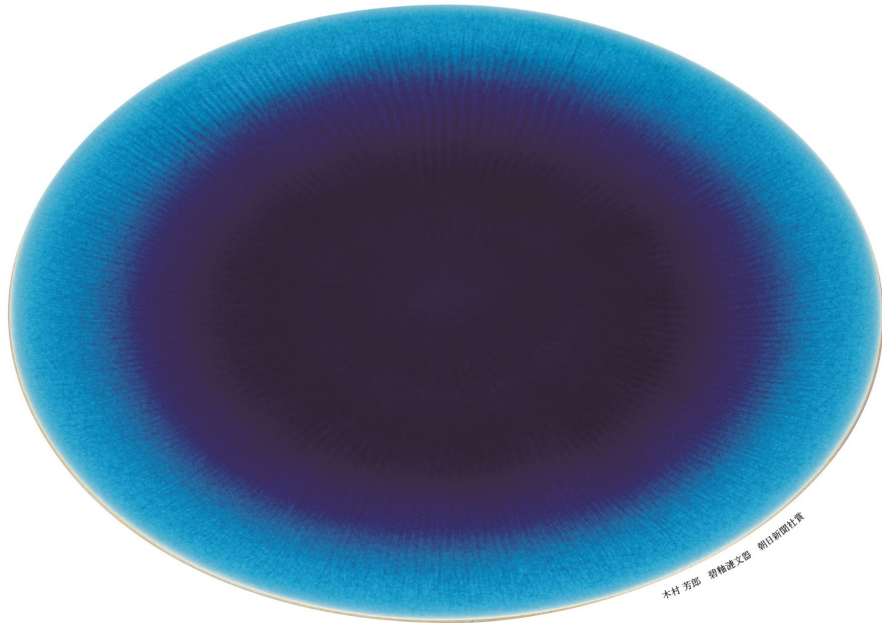


press release

この紺碧、必見。



第67回

# 日本伝統工芸展

The 67th Japan Traditional Kōgei -Art Crafts- Exhibition 陶芸／染織／漆芸／金工／木竹工／人形／諸工芸

会期 令和3(2021)年  
2月17日(水)～3月7日(日)  
会期中無休

12月17日(水)から  
前売券発売!

開館時間 9:00～17:00

※金曜日は19:00まで、  
入場は閉館の30分前まで

料金 一般 700円  
高・大学生 400円

※中学生以下無料

※前売・20名以上の団体は200円引き



- JR広島駅より約1km ●広島城より約400m
- 市内電車(「八丁堀」で乗り換え)白島線で「縮景園前」下車20m
- ひろしまめいぶる～ぶ(市内循環バス、JR広島駅新幹線口のりば発着)「県立美術館前」下車(白島線沿い)

 **広島県立美術館**  
Hiroshima Prefectural Art Museum



公式Instagram

## 【開催趣旨】

日本伝統工芸展は、日本の風土の中から生まれた世界に誇る工芸技術を、発展継承させることを目的に、昭和29年に創設されました。伝統的な「わざ」をベースとしながら、今日の生活に合った新たな技術、新たな表現を築き上げることを目標としています。広島展では、陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、諸工芸の各部門から、広島在住作家の入選作10点を含む約280点を展示します。人間国宝(重要無形文化財保持者)から新進気鋭の若手まで、日本を代表する工芸家たちの最新作をお楽しみください。

## 【展覧会の構成】

本展は陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、諸工芸の7部門から構成されます。

### I 陶芸

土器、炆器、陶器、磁器というように、やきものは原料とその性質から分類されます。さまざまな釉薬や上絵具による絵付け、窯の中で偶発的に発生する窯変など、バラエティに富んだ作品が一堂に並びます。

### II 染織

染織は文字通り、染めることと織ることをいいます。木綿や絹、芭蕉や和紙などを素材として用いた、染めと織り、刺繍などによる色とりどりの着物が見る人を魅了します。

### III 漆芸

漆芸は、東アジアや東南アジアで発達した東洋独特の工芸で、各地域で特色のある器や調度が作られてきました。漆の塗肌の味わいや光沢を活かした髹漆、貝を使った華やかな螺鈿など多彩な作品を展示します。



木村 芳郎 碧釉漣文器  
朝日新聞社賞



松枝 哲哉 久留米緋着物「光芒」  
文部科学大臣賞



須藤 靖典 乾漆平文蒔絵漆箱「水壁」  
日本工芸会総裁賞

# press release

## IV 金工

金工は文字通り、金属による工芸をいいます。素材は、金、銀、銅、鉄、異なる金属を合わせた合金など。叩いて成形する鍛金、熱く溶かした金属を鋳型に流し込んで成形する鋳金、彫ったり鍍金したりして加飾する彫金など様々な技法による作品を紹介します。

## V 木竹工

木竹工は、木工と竹工をいいます。木工の技法は大きく分けて口口を使った挽物<sup>ひきもの</sup>、削って形を作る割物<sup>くりもの</sup>、薄い板を曲げて成形する曲物<sup>まげもの</sup>、板状の木を複雑に組み合わせた指物<sup>さしもの</sup>などがあります。ケヤキや黒柿、松や黒檀など木の性質を活かして作品制作が行われます。竹工は、真竹や孟宗竹などをそのまま、あるいは細く割ってヒゴとし、編んで作品とします。

## VI 人形

伝統的な人形制作は木彫や桐塑、張子や陶磁製の陶胎があります。作品の背景にあるだろろう物語や伝説はもちろん、衣装の布選びや小物まで、作者は工夫をこらしています。

## VII 諸工芸

諸工芸には、ガラスや七宝、玉や象牙、截金や硯などが含まれます。ガラスの成形法には、型を使う方法と使わない方法があり、切子や腐蝕などで加飾します。七宝は銀や銅などの素地にガラス質の釉薬を焼き付けるもので、有線七宝、無線七宝、省胎七宝などがあります。メノウや水晶をくりぬいた玉、染めたり彫ったりした象牙（現在はマンモスの牙が多い）、線状に切った金箔などを貼ることで文様を表した截金、山口県や山梨県などが特産の硯といった多彩な作品をご覧ください。

## 【媒体掲載用の画像提供について】

※いかなる場合も本プレスリリースからの転用はご遠慮ください。

※都合により出品作品が異なる場合がございます。ご了承ください。

※画像については提供が可能です。ご掲載の際に画像がご入り用の場合は、当館までお問い合わせください。

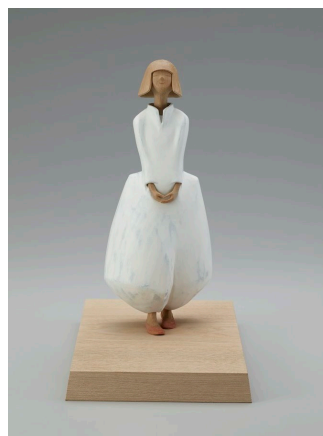
※画像掲載の際には、画像とテキストが掲載されたレイアウト原稿を事前に当館までご提出いただき、1週間程度お時間を頂戴いたします。



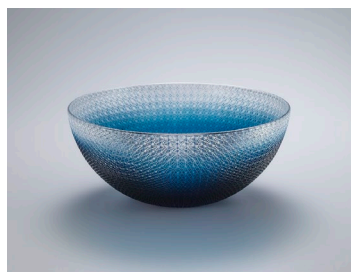
村上 浩堂 象嵌花器「連樹」  
日本工芸会奨励賞



桑山 弥宏 神代杉彩線木象嵌十二角箱  
高松宮記念賞



松崎 幸一光 木彫彩色「時」  
日本工芸会奨励賞



安田 公子 被硝子切子鉢「糸遊」  
日本工芸会新人賞

## 【関連イベント】

伝統工芸に親しみ、楽しく学んでいただくための体験イベントやワークショップを多数用意しております。

### 講演会（共催：広島県立美術館友の会）

テーマ：「型的美を求めて～文様の起点と展開～」

講師：鈴木滋人（重要無形文化財「木版摺更紗」保持者）

日時：2月20日（土）13:30～15:00（開場13:00）

場所：地階講堂

※聴講無料、要事前申込（当館082-221-6246）

### 子供ワークショップ「学芸員の仕事に挑戦しよう！」

テーマに合わせて出品作品の展示配列を考えます。学芸員のタマゴ、この指とまれ！

日時：1月11日（月・祝）13:30～15:30（受付開始13:15）

講師：福田浩子（当館学芸課長）、岡地智子（当館学芸員）

受付：3階ロビー

対象：小学3年生～中学3年生

募集人数：6名程度

※参加無料、要事前申込（当館082-221-6246）

### スライドトーク

日時・講師（分野）

2月19日（金）15:00～ 粟根仁志（七宝）

2月22日（月）15:00～ 当館学芸員（全般）

2月25日（木）15:00～ 田代明樹男（漆芸）

2月26日（金）15:00～ 小林松斎（木工）

2月27日（土）11:00～ 木村芳郎（陶芸）

3月1日（月）15:00～ 当館学芸員（全般）

3月4日（木）15:00～ 奥 富久枝（人形）

3月5日（金）15:00～ 平 恵子（染織）

3月6日（土）15:00～ 金城一國齋（漆芸）

所要時間：約40分

場所：地階講堂

※聴講無料、要事前申込（当館082-221-6246）

## インスタライブ配信

当館公式Instagramからギャラリートークを配信

日時・出演

2月22日(月)17:00～ 十四代今泉今右衛門(重要無形文化財「色絵磁器」の保持者)

3月1日(月)17:00～ 金城一国斎(漆芸作家)

所要時間：約15分



公式Instagram

## 森本ケンタ ミニコンサート

日時：2月23日(火・祝)15:00～

※参加無料、要事前申込(当館082-221-6246、申込開始2月8日)



## しゅんげつ かぐら 旬月 神楽 展覧会オリジナルスイーツ

受賞作《碧釉漣文器》をイメージしたオリジナル和菓子をご用意します。

期間限定：2月17日(水)～28日(日)[1日10食限定]

場所：3階ティールーム

## 工芸作家の小品販売

日本工芸会会員の作品を、会期中、3階ミュージアムショップで販売します。

一点ものの作品をお手頃な価格でご準備しております。

## 【縮景園連携】

ワンコイン縮景園 本展入館券のご提示により、100円で縮景園にご入園いただけます。

## 【開催概要】

メインタイトル：第67回日本伝統工芸展

英語名：The 67th Japan Traditional Kōgei -Art Crafts- Exhibition

会 期：令和3年2月17日(水)～3月7日(日) 会期中無休

開館時間：9:00～17:00(金曜日は19:00まで開館)

※入場は閉館の30分前まで

料 金：一般 700円 高・大学生400円 ※中学生以下無料

※前売り・20名以上の団体は当日料金より200円引き

※前売券は広島県立美術館、広島市・呉市内の主なプレイガイド、画材店・画廊、ゆめタウン広島などで販売しています。


※学生券をご購入・ご入場の際は学生証のご提示をお願いします。

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳及び戦傷病者手帳の所持者と介助者(1名まで)の当日料金は半額です。手帳をご提示ください。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開館情報に変更の生じる場合がございます。最新情報は広島県立美術館(電話・HP・SNS)まで

## 開催クレジット

主 催：広島県立美術館／NHK広島放送局／朝日新聞社／(公社)日本工芸会

助 成：令和2年度文化庁補助事業 

協 賛：マツダ／大田鋼管／ヒロタニ／広島県信用組合／一般財団法人ケンシン地域振興財団／ヒロテック

問い合わせ先：広島県立美術館

〒730-0014 広島市中区上幟町2-22

TEL.082-221-6246 FAX.082-223-1444

E-mail：iroeuma2@gmail.com

担当：学芸課 岡地 智子

広報担当：総務課 一色 直香、弘津 かおる